



1 - ⑪

ユニバーサルデザイン推進事業

政策課ユニバーサルデザイン推進室

事業費（計画額）

426万円

概要

平成25年5月に策定した「高松市ユニバーサルデザイン基本指針」に基づき、誰もが安心して快適に生活することのできるユニバーサルデザイン社会の実現を目指すため、様々な主体が協働して取り組みます。

また、その考え方や方向性について、本市が率先して実践、啓発を行うことで、市民や事業者等にもユニバーサルデザインの考え方を広め、市全体で更なるユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|
| たかまつユニバーサルデザインマップによる情報発信 心のユニバーサルデザインの啓発 ユニバーサルデザイン展の開催等 啓発用パンフレットの配布 多様な主体との連携によるユニバーサルデザインの推進 共生社会ホストタウン登録を契機とした取組の推進 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|------------------------|----------|---------|
| たかまつユニバーサルデザインマップの登録件数 | 771件 | 1,000件 |



たかまつユニバーサルデザインマップ トップページ

1 - ⑫
【特別重点】

在宅医療・介護連携推進事業

長寿福祉課

事業費（計画額）

4,406万円

概要

医療と介護の両方を必要とする高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅医療従事者等で構成する在宅医療介護連携推進会議を開催し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、情報の共有と連携の強化に向け、地域の実情に応じたネットワークづくりを推進します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|-------|-------|
| 在宅ケア便利帳（Web版）の更新 在宅医療介護連携推進会議の開催 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 医療介護・関係者の情報共有ツールの利用支援 在宅医療コーディネーター養成研修 在宅医療支援センターの運営 医療・介護関係者の研修会の開催 在宅医療と介護に関する普及啓発 同一医療圏関係者会の開催 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|--|----------|---------|
| 医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数（10点満点）の平均 | 5点 | 7点 |



医療介護連携ミーティングの様子



1-⑬

生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業

健康福祉総務課地域共生社会推進室
長寿福祉課

事業費（計画額）
1億7,192万円

概要

支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置や、コーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を図り、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|
| 第1層協議体（高松市介護保険制度運営協議会）の開催 第2層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置 市民等への周知・広報 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|------------------------------|----------|---------|
| 住民主体によるサービス（サービスB）を提供している地区数 | 19地区 | 40地区 |



サービス提供体制のイメージ

1 - ⑭

高齢者居場所づくり事業

長寿福祉課

事業費（計画額）

3,594万円

概要

高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせる環境を整備するため、高齢者が地域で気軽に足を運べ、介護予防や健康づくりのほか、子どもたちを交えた世代間交流やボランティア活動の拠点となる居場所づくりを支援します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|-------|-------|
| 居場所の運営支援 高松市内3医師会連合会・歯科医師会・薬剤師会・医療系大学等との連携事業 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|--|----------|---------|
| 参加者が自分の健康状態について「保たれている」又は「良くなっている」と感じている割合 | 95.2% | 95.2% |



高齢者居場所づくり事業の活動の様子



1 - ⑮
【特別重点】

高齢者見守り事業

長寿福祉課

事業費（計画額）

1億9,939万円

概要

高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な高齢者の訪問や配食サービスによる安否確認や、24時間365日介護や日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設など、高齢者の見守り事業を推進します。

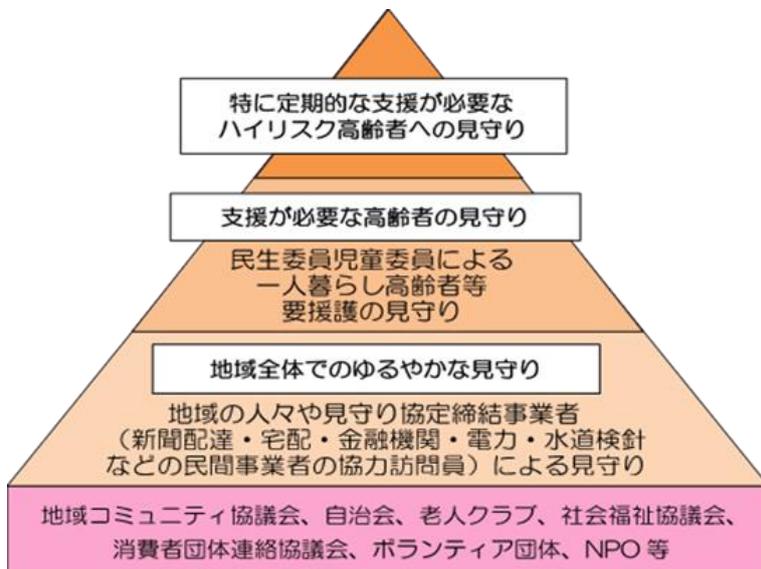
また、徘徊高齢者等の早期発見につなげるため、高松市徘徊高齢者等保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により迅速かつ広範囲への情報伝達を行うことで、認知症等が原因で徘徊する高齢者の早期発見・保護に取り組みます。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|-------|
| 地域で支えあう見守り活動の実施 特別あんしん見守りの実施 徘徊高齢者家族等支援の実施 たかまつ介護相談専用ダイヤルでの相談 配食見守りの実施 あんしん通報サービスの実施 | 地域で支えあう見守り活動の実施 特別あんしん見守りの実施 徘徊高齢者家族等支援の実施 たかまつ介護相談専用ダイヤルでの相談 配食見守りの実施 あんしん通報サービスの実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|-------------|----------|--------------|
| 見守り協定締結事業者数 | 82事業者 | 90事業者 |



三層構造による高齢者の見守り



1 - ⑯
【特別重点】

認知症ケア推進事業

地域包括支援センター

事業費（計画額）

4,904万円

概要

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置、容態に応じた相談や利用できる機関名・内容等を具体的に掲載した「認知症ケアパス」の普及、また、認知症の初期から複数の専門職が訪問支援等を行う「認知症初期集中支援チーム」の運営を行います。

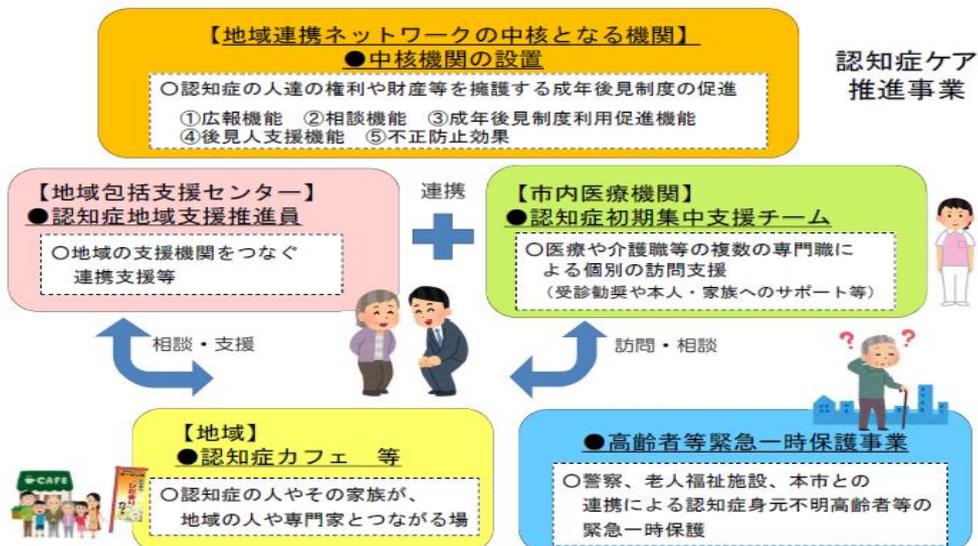
さらに、成年後見制度利用促進に向けて、相談対応や市民後見人の育成・活動支援といった役割等を担う「中核機関」を新たに設置し、関係機関との地域連携ネットワークの構築を図ります。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|-------|-------|
| 認知症初期集中支援チームの運営 認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 認知症地域支援推進員の配置・研修 認知症ケアパス等の普及啓発 認知症カフェの開催 高齢者等の緊急一時保護 成年後見制度中核機関の運営 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|--------------------------------------|----------|-------------|
| 認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険サービス等につながった割合 | 71% | 100% |



認知症ケア推進事業のイメージ



1 - ⑰

障がい者就労支援促進事業

障がい福祉課

事業費（計画額）

2,062万円

概要

障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、就労支援促進事業を実施し、支援を行います。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|-------|-------|
| 空き店舗を活用した「障がい者就労の場」を開設する事業者等への支援 公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設の支援 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|------------------------------|----------|---------|
| 「障がい者就労支援促進事業」における就労者数及び訓練者数 | 13人 | 16人 |



公共施設内「障がい者就労訓練の場」



1 - ⑱

障がい者地域生活支援推進事業

障がい福祉課

事業費（計画額）

3億4,153万円

概要

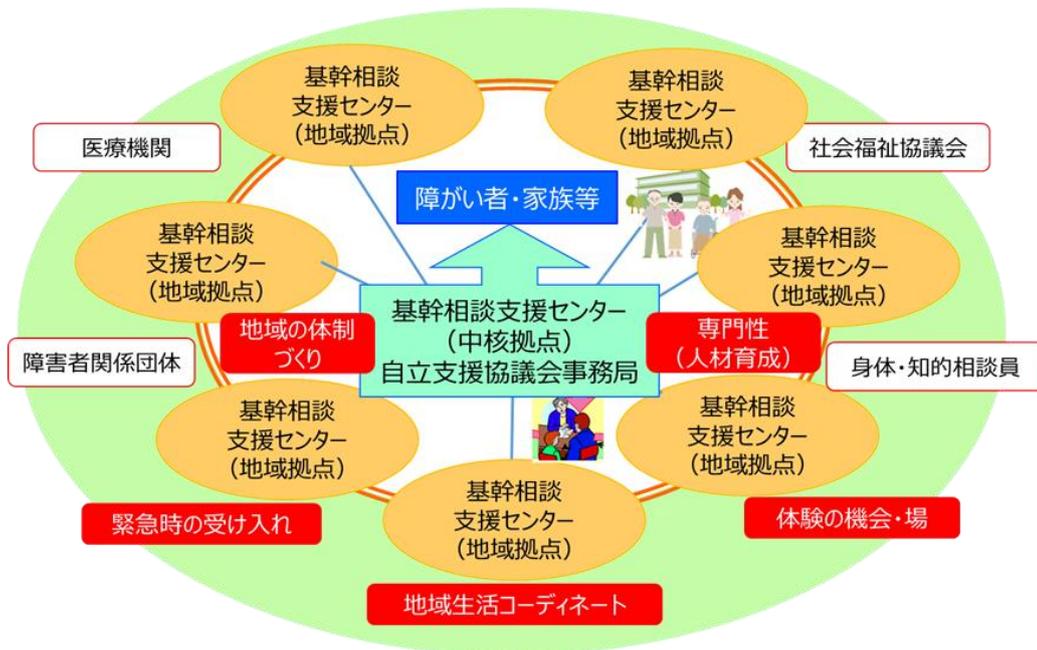
障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、障がい福祉サービス事業所等と連携ネットワークを構築するなど、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を強化し、様々な支援を切れ目なく提供します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|
| 基幹相談支援センター（中核拠点・地域拠点）の運営 緊急時受入先の確保 合理的配慮の提供を支援する助成 コスモス園の運営 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|----------------|----------|---------|
| 基幹相談支援センター相談件数 | 1,464件 | 1,600件 |



基幹相談支援センターのイメージ



1 - ⑱
【特別重点】

**手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及
促進事業**

障がい福祉課

事業費（計画額）

1, 2 5 3 万円

概要

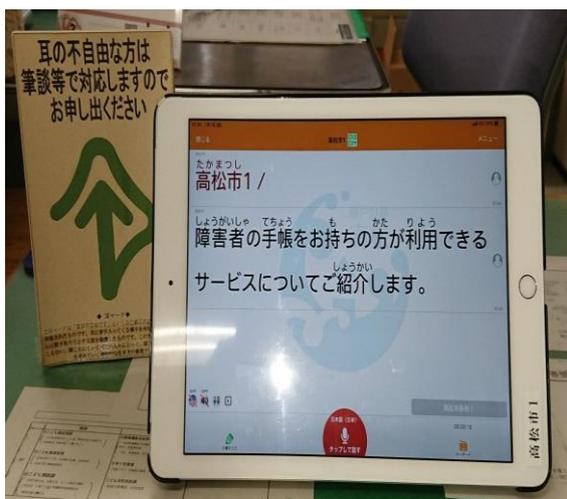
手話等コミュニケーション手段に関する必要な情報を提供するとともに、それらを容易に利用できるようにするため、環境整備に関する施策や、手話等コミュニケーション手段の普及及び利用の促進に関する施策を実施します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|---|-------|
| 手話通訳者育成に向けた研修の実施 コミュニケーション支援アプリ搭載タブレットの活用 職員研修の開催 学校への手話言語出前授業 商店街コミュニケーション支援ボードの作成 PR動画の作成 | 手話通訳者育成に向けた研修の実施 コミュニケーション支援アプリ搭載タブレットの活用 職員研修の開催 学校への手話言語出前授業 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|--------------------|----------|---------|
| 手話通訳者育成に向けた研修の参加者数 | 74人 | 110人 |



コミュニケーション支援アプリ搭載タブレットの活用



障がいのある人のコミュニケーション研修



1-20

がん対策推進事業

保健予防課
健康づくり推進課

事業費（計画額）
10億7,036万円

概要

がんは、死因の第1位で約3割を占めていることから、がん予防、早期発見・早期治療により、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸を図るため、がん予防の普及啓発とがん検診の受診勧奨に取り組みます。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|-------|-------|
| 各種がん検診（胃、肺、大腸、乳、子宮頸、前立腺）の実施 がん検診受診勧奨 受診券の送付 精密検査未受診者に対する受診勧奨 未受診者への受診勧奨 子宮頸がん予防ワクチン接種の実施 | 継続実施 | 継続実施 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） （H29） | 目標値（R4） |
|------------------|-------------------|---------|
| がん検診受診率（20歳～69歳） | 54.5% | 60% |

※高松市民の健康づくりに関する調査（対象：市民3,000人）



肺がん集団検診の様子



がん検診啓発のぼり



1 - ②
【特別重点】

附属医療施設（塩江分院）整備事業

みんなの病院事務局総務課附属医療施設整備室

事業費（計画額）

1億円

概要

「高松市民病院と香川診療所を移転統合した新病院を整備し、塩江分院をその附属医療施設とする。」という基本方針に基づき、市立3病院を統合・再編することとしており、「地域まるごと医療」を実践し、塩江地区の地域包括ケアシステムの構築に貢献するため、附属医療施設を整備します。

計画

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|------------------------|
| 土木実施設計 用地取得 施設建築基本設計 自然休養村センター解体設計 | 自然休養村センター解体工事 土木・基盤整備工事 施設建築等実施設計 用地取得 電子カルテシステム等導入 | 土木・基盤整備工事 施設建築等整備工事 |

目標

| 目標項目 | 実績値（H30） | 目標値（R4） |
|----------------------|----------|------------|
| 附属医療施設（塩江分院）整備事業の進捗率 | — | 30% |

※施設整備事業は、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%
その後の工事工程については事業費で進捗率を管理



みんなの病院との連携イメージ